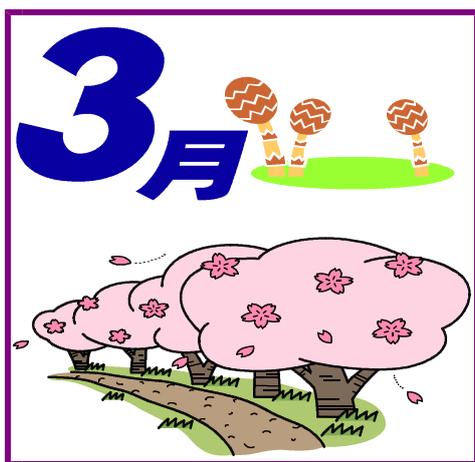


# めぐみイエス・キリスト教会

2023年3月12日(日)第二主日礼拝

午前10時より

週報「通算第648号」



## 2023年標題聖句

### 第 I ヨハネの手紙第5章4節～5節

《神から生まれた者はみな、世に勝つからです。私たちの信仰、これこそ、世に打ち勝った勝利です。世に勝つ者とはだれでしょう。イエスを神の御子と信じる者ではありませんか。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実  
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

## ◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】		
【賛美Ⅰ】	新聖歌108「丘に立てる荒削りの」	p. 150
【交読文】	No.28 詩篇第91篇	p. 902
【賛美Ⅱ】	新聖歌448「神より生まれし者よ」	p. 722
【使徒信条】	【主の祈り】	
【先週説教】		
【賛美Ⅲ】	オリジナル曲No.1「聖霊の風」	
【聖書朗読】	使徒の働き23章23節～35節(新約p. 284下段)	
【礼拝説教】	《千人隊長の英断》	
【聖餐式】		
【賛美Ⅳ】	新聖歌166「威光・尊厳・栄誉」	p. 236
【平和祈り】		
【頌 栄】	新聖歌63 「父・御子・御霊の」	p. 85
【祝祷後奏】		

### ※聖書箇所(使徒の働き23章23節～35節)

23:23 それから千人隊長は二人の百人隊長を呼び、「今夜九時、カイサリアに向けて出発できるように、歩兵二百人、騎兵七十人、槍兵二百人を用意せよ」と命じた。

23:24 また、パウロを乗せて無事に総督フェリクスのもとに送り届けるように、馬の用意もさせた。

23:25 そして、次のような文面の手紙を書いた。

23:26 「クラウディウス・リシア、謹んで総督フェリクス閣下にごあいさつ申し上げます。

23:27 この男がユダヤ人たちに捕らえられ、まさに殺されようとしていたときに、私は兵士たちを率いて行って彼を救い出しました。ローマ市民であることが分かったからです。

23:28 そして、ユダヤ人たちが彼を訴えている理由を知ろうと思い、彼を彼らの最高法院に連れて行きました。

23:29 ところが、彼が訴えられているのは、ユダヤ人の律法に関する問題のためで、死刑や投獄に当たる罪はないことが分かりました。

23:30 しかし、この者に対する陰謀があるという情報を得ましたので、私はただちに彼を閣下のもとにお送りします。なお、訴えている者たちには、彼のことを閣下の前で訴えるように命じておきました。」

23:31 そこで、兵士たちは命じられたとおりにパウロを引き取り、夜のうちにアンティパトリスまで連れて行き、

23:32 翌日、騎兵たちにパウロの護送を任せて、兵營に帰った。

23:33 騎兵たちはカイサリアに到着すると、総督に手紙を手渡して、パウロを引き合わせた。

23:34 総督は手紙を読んでから、パウロにどの州の者かと尋ね、キリキア出身であることを知って、

23:35 「おまえを訴える者たちが来たときに、よく聞くことにしよう」と言った。そして、ヘロデの建てた官邸に彼を保護しておくように命じた。

### ●ポイント1. 「主イエス様の励ましの言葉」とは？

#### ※使徒の働き23章11節「エルサレムの牢獄において」(新約p.292)

23:11 その夜、主がパウロのそばに立って、「勇気を出しなさい。あなたは、エルサレムで私のことを証したように、ローマでも証しをしなければならぬ」と言われた。

### ●ポイント2. 「クラウディウス・リシヤ」とは？

パウロがエルサレムでユダヤ人たちに捕えられた時の、エルサレムのローマ軍守備隊の千人隊長。クラウディウスというのは彼がローマ市民権を買った時につけられた名と思われる。リシヤというのは彼がギリシヤ人であることを示している。

### ●ポイント3. 「アンティパトリス」とは？

パウロがローマ軍兵士によって護送され、エルサレムからカイサリアに向かう途上、最初の夜を過ぎた地。エルサレムの北西約55キロの地点にあり、カイサリアへは、軍用道路を45キロほどさらに北上する。

## ◎先週の礼拝メッセージ【パウロ殺害の陰謀】

《ユダヤ最高法院が開かれたその夜の事です。主イエスがパウロに現われて、「勇気を出しなさい。あなたは、エルサレムで私のことを証したように、ローマでも証しをしなければならない」と言われました。

この後すぐに、牢獄を訪ねて来た甥によって「暗殺計画」を耳にした時、パウロが恐れないように、あえてご自身を現わされたのです。

私たちの神様は「励まし」の神様です。何か重大な事が起きる前に、私たちに教えて下さるのです。助け主である聖霊は、み言葉を通して、時には直接に、また様々な方法を用いて教えて下さいます。

さて、この陰謀は四十人以上のユダヤ人たちによって企てられました。しかし、人数が多ければ多いほど、情報は漏れやすく、パウロの妹の息子がその情報をキャッチしたのです。この情報を手にした甥は、すぐにアントニヤ要塞に行きます。ルカはこの甥のことを「青年」と言っていますが、もしかしたら、13歳から14歳くらいであったかも知れません。それゆえ、この甥が、ローマの兵営にやって来た時に、見張りの兵士は、危害が無いと思い、快くパウロに会わせ、また千人隊長の所に連れて行ったのです。甥は千人隊長にすべてを話します。

さて、聖書はパウロの妹の名前も、またその息子(甥)の名前をも、一切明らかにしておりません。しかし、神様はこの時の為に、すでに二人を導き、パウロと同じように、クリスチャンにしていたのです。

かつて、エステルがなぜ王妃になったのか、そのわけをモルデカイはこのように話しました。『「あなたがこの王国に来たのは、もしかすると、このような時の為かもしれない。」』と。

パウロの甥に使命が与えられたように、私たち一人一人にも使命が与えられています。それこそが先に救われた理由です。そして今の世に、また、それぞれの場所に置かれている理由なのです。》

### お知らせ

※次回の礼拝は通常通り、3月19日(日)午前10時から行ないます。また、今年のイースター礼拝は、4月9日(日)となります。